施策評価シート（令和７年度実績）

施策名　10　高齢者がいきいき暮らせる地域をつくる

施策コード	020010

１．施策の体系と担当課

第5次総合計画	将来像	2　誰もが地域で健やかに　ともに支え合うまち
主管課	健康福祉部　高齢介護課	
関係課	健康福祉部　市民福祉センター，健康福祉部　やすらぎ老人福祉センター	

２．施策の目標

10年後の目標

本市の地域特性に合った地域包括ケアシステムが構築され、高齢になっても、介護が必要になっても、生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまちになっています。

10年後の目標に向かっての主な取組み

市の取組み

〇貝塚市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、地域の実情に即した認知症施策の推進、医療と介護の連携の強化、地域包括支援センターの機能強化、介護サービスの基盤整備など計画に沿った事業を展開し、地域包括ケアシステムを確立します。
〇高齢者の尊厳を守り、その人らしく地域で安心して生活できるよう権利擁護を推進します。
〇住民主体・協働を理念として、すべての高齢者が自ら身近な場所で継続的に健康づくりや介護予防、生きがいづくりに取り組むことができるよう支援します。
〇介護保険事業の運営にあたっては、利用者の状態に合わせた適切な介護認定、給付を維持します。
〇地域密着型サービス等介護サービスの基盤整備を計画的に進めます。

市民・団体・事業所等の取組み

〇認知症を正しく理解し、高齢者の尊厳を守ります。
〇高齢期の健康づくり、介護予防に積極的に取り組みます。
〇社会福祉協議会は地域ボランティアの育成とともに小地域ネットワーク活動を推進し、地域での生きがいづくりに主体的に取り組みます。
〇医療・介護関係者は市と連携し、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の整備を図ります。
〇シルバー人材センターは高齢者の多様なニーズに対応した就業機会を確保し、提供します。
〇介護保険事業者は相互の連携強化と緊密な情報共有に取り組みます。

３．施策を取り巻く状況

社会環境や法令等の変化

高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らすためには、介護保険サービスだけでは対応できないことが予想される。介護予防・日常生活支援総合事業など、高齢者を社会全体で支える仕組みづくりである地域包括ケアシステムを構築する必要がある。

新たな市民ニーズ

住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会環境が求められている。

４．施策にかかるコスト

			単位	R6予算	R6決算	R7予算	R7決算	R8予算
コストの内訳	投入人員	正職員数	人		21.09		22.86	
		会計年度任用職員数			4.06		4.06	
	人件費	直接人件費	千円		147,214		166,958	
		間接人件費			29,924		30,880	
	直接事業費			10,811,471	10,926,578	11,583,031	11,291,418	12,121,991
	間接事業費				3,799		4,337	
	フルコスト				11,107,515		11,493,593	
財源内訳	使用料及び手数料		千円	203	2	203	0	203
	国庫支出金			1,932,225	2,051,213	2,126,496	2,178,774	2,223,758
	府支出金			1,084,740	1,119,968	1,185,028	1,159,717	1,233,434
	市債							
	その他			4,607,281	4,668,122	4,108,504	3,877,430	4,447,987
	一般財源１（＝フルコスト－特定財源）				3,268,210		4,277,672	
	一般財源２（＝直接事業費－特定財源）			3,187,022	3,087,273	4,162,800	4,075,497	4,216,609

備考

５．施策の成果指標							
成果指標1		要介護認定を受けていない高齢者の割合					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
%	令和3年度	80	増加	75.9	75.2	76	76.5
成果指標2		要介護状態となるリスクの高い高齢者割合					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
%	令和8年度	10	減少	7.8	8.7	10	10
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

６．施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和7年度実績）										
事務事業名	最重要指標		事業費 人件費				方向性		所見	
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(見込)				
老人センター運営事業 （福セ）	老人センター延べ利用者数（クラブ関係及び設備利用者）		464	446	438	467	成果	簡易評価		
	R7実績	14,989 人								
	最終目標値に対する達成率	99.9%	1,645	578	677	0	資源配分			
老人福祉法措置事業 （高齢）			11,337	7,363	7,107	20,091	成果	評価対象外		
	R7実績									
	最終目標値に対する達成率		3,501	3,355	3,204	0	資源配分			
長寿を祝う事業 （高齢）	長寿を祝う事業における対象者数		6,144	9,996	6,496	8,668	成果	B：現状維持	高齢化の急速な進展塔社会情勢の変化も踏まえ、高齢者への敬愛・祝福のあり方や方策を検討する必要がある。	
	R7実績	1,040 人								
	最終目標値に対する達成率	116.4%	2,597	3,383	2,449	0	資源配分	C：縮小や統合を検討		
後期高齢者医療制度事業 （保険）			2,502,324	2,639,722	2,758,917	2,910,140	成果	評価対象外		
	R7実績									
	最終目標値に対する達成率		21,187	25,673	32,684	0	資源配分			
介護保険資格・賦課徴収事業 （高齢）			7,684	8,637	7,552	9,434	成果	評価対象外		
	R7実績									
	最終目標値に対する達成率		13,305	15,793	28,399	0	資源配分			
介護保険給付事業 （高齢）			7,473,888	7,955,772	8,197,861	8,764,623	成果	評価対象外		
	R7実績									
	最終目標値に対する達成率		22,579	26,586	21,132	0	資源配分			
要介護・要支援認定事業 （高齢）			70,370	52,229	56,219	100,946	成果	評価対象外		
	R7実績									
	最終目標値に対する達成率		29,584	30,999	29,806	0	資源配分			
重層的支援体制整備事業（包括的支援事業） （高齢）	総合相談件数		62,349	69,596	69,613	69,836	成果	簡易評価		
	R7実績	3,630 件								
	最終目標値に対する達成率	72.6%	10,864	14,453	14,759	0	資源配分			

高齢者日常生活支援事業 （高齢）	認知症サポーター養成講座参加者数 R7実績 332 人 最終目標値に対する達成率 36.8%	38,918	19,115	17,153	37,262	成果	A：向上を図る	認知症の有無に関わらず、住み慣れた地域で尊厳を持って共に暮らし続けることができる地域共生社会の実現をめざす必要がある。
		2,197	1,005	1,046	0	資源配分	B：現状維持	
介護保険事業計画等策定事業 （高齢）	アンケート（日常生活圏域ニーズ調査）送付件数 R7実績 3,500 件 最終目標値に対する達成率 －	0	0	0	0	成果	簡易評価	
		8,166	0	2,449	0	資源配分		
高齢者在宅支援事業 （高齢）	緊急通報装置設置台数 R7実績 82 台 最終目標値に対する達成率 －	1,830	2,096	2,040	4,412	成果	B：現状維持	高齢者が可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、また、介護者の負担軽減が図られるよう事業を推進する必要がある。
		6,769	8,996	9,695	0	資源配分	B：現状維持	
団体支援事業 （高齢）	老人クラブ会員数 R7実績 3,944 人 最終目標値に対する達成率 74.4%	17,581	17,169	16,892	18,158	成果	簡易評価	
		6,775	7,662	7,774	0	資源配分		
介護予防・日常生活支援総合事業 （高齢）	介護予防教室参加者数 R7実績 1,814 人 最終目標値に対する達成率 86.3%	159,648	142,758	145,436	170,868	成果	簡易評価	
		11,486	12,128	12,036	0	資源配分		
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 （高齢）	健康状態不明者訪問・連絡件数 R7実績 77 件 最終目標値に対する達成率 －	5,429	0	0	0	成果	簡易評価	
		5,113	8,391	8,590	0	資源配分		
重層的支援体制整備事業（地域介護予防活動支援事業） （高齢）	つげさんお元気体操グループ立ち上げ支援 R7実績 0 件 最終目標値に対する達成率 －	0	0	4,015	5,040	成果	簡易評価	
		0	0	3,363	0	資源配分		
社会参加促進事業 （やす）	来館者数 R7実績 9,890 人 最終目標値に対する達成率 98.9%	1,651	1,679	1,679	2,046	成果	A：向上を図る	高齢者が、生きがいを持って、健康で明るく生活を営むため、社会参加を促進する事業を推進する必要がある。
		13,009	17,660	19,775	0	資源配分	B：現状維持	

７．施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	介護予防など行い、長期的に対策を進めていく必要がある。
構成事務事業に課題はないか	妥当である
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	妥当である

８．今後の方向性	
担当部長の所見	高齢者が住み慣れた地域で、安心して自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の実情に応じた包括的な支援・サービスの提供体制（地域包括ケアシステム）のさらなる深化・推進をめざす
担当副市長の意見	高齢になっても、介護が必要になっても、高齢者が住み慣れた地域で、安心して自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の実情に応じた包括的な支援・サービスの提供体制（地域包括ケアシステム）のさらなる深化・推進をめざす。